

安城中央商店街連盟(安城市) 【代表者:会長 鶴田伸也】

キャッチフレーズ

“まちはステージ” - こんな「まち」だったらいいね！！

中心市街地商店街を中心に賑わいに溢れ、活気あるまちを実現

活性化モデル商店街としてのモデル性

一大イベントである“サンクスフェスティバル”をコア事業として、商店街を始め多種多様な団体、内外の様々な人たちの力によって賑わいあふれ活気あるまちづくりを目指す交流型商店街

商店街の将来ビジョン

安城中央商店街連盟は安城市の中心市街地、JR安城駅周辺に立地する6商店街振興組合の連合体である。

商店街名:安城セントラル・安城市御幸・安城市本通り・安城市朝日町・
安城市日の出町・花ノ木商店街振興組合

平成14年の総合病院の郊外移転や、平成15年の総合スーパーの退店等によりシャッターを閉めた店舗も増え疲弊しつつあるが、周辺には高層マンションの建設も相次ぎ、今後、居住人口の増加が予想される中心市街地で、活性化に向けた大きなポテンシャルを有する。

安城市では当商店街地区をメイン会場に50年以上の歴史を誇る安城七夕まつりが開催され、毎年、3日間の開催期間中には100万人の集客があるものの、日常のまちの賑わい創出がかねてからの課題となっており、平成10年には安城中央商店街連盟を中心に、地域の学校や社会福祉協議会等の諸団体、住民との相互連携のもと、「まちはみんなのステージ」を合い言葉とした新たなイベント「サンクスフェスティバル」がスタートする。

地域の「こんなまちだったらいいね」の想いをのせて、理想のまちの姿を追求するともいえるサンクスフェスティバルをコア事業として、今後、より多くの団体とも連携をとり、新しい取り組みを実践しながら、高齢者や子どもに優しく、まちのひとたちから愛される商店がならぶ通りを構築し、常にひとが行き交い、賑わいに溢れ、活気あるまちを実現する。

具体的に取組む事業内容

サンクスフェスティバル (20年度～22年度)

中心市街地を市民みんなの「活動の場」として行うイベント事業で、各種団体の様々な活動のPRや連携を進め、通常時における中心市街地の活動の推進、中心市街地の活性化を図ることを目的とする。

(仮称)まちの講座事業 (20年度～22年度)

個店が講座を開講し、受講者との交流及び個店の魅力創出を図る。

(仮称)商業者教育支援事業(商業塾) (20年度～22年度)

中心市街地商店の個店の魅力向上のための塾を開催し、誘客を図る。